



背景

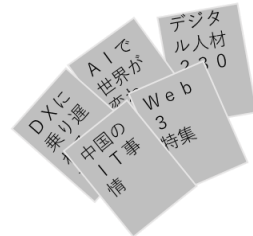
- 人口は約120,200人（令和4年9月時点）と、県下第2の人口を擁する中核都市。
- 大都市近郊のベッドタウンとして発展。

急ぎ～10年程度で解決すべき問題

市の人口減少	現役世代の流出	豪雨災害リスク増大
公共設備老朽化	新型コロナ禍による観光業の打撃	子供・高齢者の安全・安心確保
高等教育機関不足	空家増加	
資源価格高騰	世帯収入伸び悩み	
地球人口急増に伴う水不足	食料資源不足	サイバーセキュリティ、個人情報保護
地球温暖化	地震・噴火等自然災害	社会保障費高騰

種々の問題

長期的には解決すべき問題



デジタルを活かした働き方、仕事、生活を選べる地域

現役世代が流出する地域

現役世代が関わりたくなる地域

デジタルを活かした働き方、仕事、生活を選びにくい地域



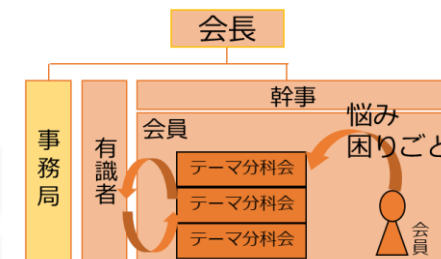
現状の課題

事業の目的

事業内容

企業版ふるさと納税を通じて、地域デジタル化推進を進めます。現在の施策は次の3つ

- ① 産官学民金によるスマートシティ推進協議会を設立します
- ② 今年度、市内河川の井堰(いせき)に監視カメラを設置します
- ③ AIなどにチャレンジし、失敗もできる大量のデータ利活用を学ぶ場を構築します





事業概要
と
得られる
成果等

寄附の
メリット
等

② 市内河川の井堰(いせき)に監視カメラを設置

台風など河川増水時に井堰運用者（水利組合等）や市職員が現場で目視確認のため、危険かつ非効率。カメラ監視&ネット公開で安全確保。約80箇所存在する井堰の一部から設置開始。

デジタル田園都市交付金
TYPE1にも採択されました

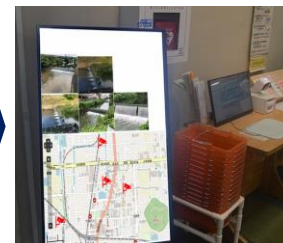


カメライメージ



平田井堰

デジタルサイネージ



スマホサイト

① 産官学民金によるスマートシティ推進協議会

- ・参加団体がデジタル分野の技術・人手不足に対し皆でサポート、助け合いのプラットフォーム。
- ・社会実装・事業化を多面的に支える体制。

③ AIなどにチャレンジし、失敗もできる大量のデータ利活用を学ぶ場を

- ・井堰カメラを皮切りにデータ蓄積、オープンデータ化を進める。
- ・若者等が機械学習・AI実装等の学びの機会に

メリット

【外部に対して】 ESG評価向上、10~20万人規模の自治体向けに連携事例化に
 【市民に対して】 TVCMがリーチ困難な層（若者、現役世代）へのブランディングに
 【御社内に対して】 社会課題解決を事業に育てる人材育成の舞台にご活用頂けます。

知恵出しから具体的な解決まで、さまざまなシーンでの仲間を求めています！

寄付を社内提案に
かける前という段
階でも構いません。
まずはお気軽にご
質問、お問合せくだ
さい。



QRコードから連絡頂けます。

8 働きがいも 経済成長も	9 産業と技術革新の 基盤をつくろう
11 住み続けられる まちづくりを	17 パートナーシップで 目標を達成しよう